

28. 花き類の総括注意

(1) 蚕、魚に対する注意

- ・合成ピレスロイド剤は蚕毒と魚毒が、I G R剤（アプロードを除く）、B T剤（生菌）は蚕毒が極めて強く、使用地域の指定があるのでこれ以外では使用しない（特別指導事項参照）。
- ・アクタラ、アドマイヤー、アルバリン、エクシレル、コロマイト、ジアミド剤、スタークル、スピノエース、ダントツ、ディアナ、パダン、ハチハチ、パロック、モスピランは蚕毒が特に強いので桑園付近で使用しない（特別指導事項参照）。
- ・アミスター、ゲッター、ベフラン、モレスタン、モンカット、コテツ、サイアノックス、サンマイト、スミチオン、ダーズバン、ダイアジノン、ダニトロン、トアロー、ハチハチは蚕毒が強いので注意する。
- ・オーソサイド、キノンドー、ダコニール、ドーマイシン、ピリカット、フロンサイド、ベフラン、ベンレートT、ホーマイ、オマイト、コテツ、コロマイト、サンマイト、スターマイト、ダーズバン、ダニトロン、ピラニカは魚毒が強いので注意する。
- ・エクシレル、コルト、サムコル、フェニックスは水産動物(特に甲殻類)に影響が強いので注意する。